



荒井新田稲荷神社

新編武蔵風土記稿（以下『風土記稿』という）に稲荷社は「村の鎮守なり、華蔵院持。末社、愛宕、天神」とある。祭神は倉稲魂命（うかのみたまのみこと）で由緒は不詳。



宝鏡寺

荒井新田にある新義真言宗智山派の寺院。『風土記稿』によれば、もとは華蔵院といい、戸ヶ崎村（現久喜市菖蒲町）吉祥院の末寺で、瑠璃山宝鏡寺と号す。本尊は薬師如来。由緒は不詳。境内に地藏堂がある。



下大崎住吉神社

下大崎の鎮守で、慶長元年（1596）の創建と伝えられる。拝殿の中には、市指定文化財の「六歌仙」をはじめとする貴重な絵馬、掲額が奉納されている。明治時代には、雷電社、天神社、八幡社、琴平社を合祀した。



全龍寺

下大崎にある曹洞宗の寺院。久喜市長龍寺の末寺。社寺堂庵明細帳によれば、創立は承応元年（1652）で元禄5年（1692）の再興とある。境内には不動尊のほか、地藏、観音、庚申塔、記念碑、供養塔など数基がある。